

〈最悪な私〉の正直すぎる本音と選択が

最高の共感を得て遂に日本へ

本年度アカデミー賞[®]ノミネート

カンヌ国際映画祭《女優賞》受賞!

世界の映画賞席卷!!

★★★★★
今年一番の傑作!
— VANITY FAIR / AP通信 /
THE PLAYLIST / Atlantic
Rogan Ebert.com

★★★★★
鋭く痛烈!
— DEADLINE

★★★★★
オールタイムベスト
— Collider

★★★★★
美しく、スリリング!
— SCREEN

★★★★★
ここ10年でNO.1
— リチャード・カーティス監督

本年度の賞レースは、ノルウェーの《異色作》の話題で持ちきりだ。1人の日常を描いた映画なのに、「痛烈」「破壊的」「センセーショナル」と、何ともミスマッチなレビューが殺到、一大ムーヴメントを巻き起こしている。主人公には今作で映画初主演を果たしたレナーテ・レインスヴェ。「かつてないスターの到来」と絶賛され、第74回カンヌ国際映画祭女優賞を受賞したのをスタートダッシュに数々の賞を席卷、遂に第94回アカデミー賞[®]ノミネートに辿り着いた。監督は『テルマ』のヨアキム・トリアー。芸術の都オスロを舞台に、遊び心溢れる独創的な映像とキャッチーな音楽でユリヤの人生のターニングポイントを追いかけると、描かれるのは【圧倒的なリアル】だ。ロマンティックでセクシーな恋、ヒリヒリする現実、ときめく未来…「どこかにもっと特別な自分がある」と期待し、時に自己嫌悪に陥りながら、時に衝動的に、自分に正直に人生を選択していくユリヤ。「わたしは最悪」と一度は悩んだことのある、新時代を生きる全ての人に贈る、全く新しい人生賛歌。



愛してるけど
愛してもいない

STORY



アート系に才能のきらめきを見せながら、決定的な道が見つからず、いまだ人生の脇役のような気分のユリヤ。そんな彼女にグラフィックノベル作家として成功した年上の恋人アクセルは、妻や母といったポジションを勧めてくる。ある夜、招待されていないパーティに紛れ込んだユリヤは、若くて魅力的なアイヴィンに出会う。新たな恋の勢いに乗って、ユリヤは今度こそ人生の主役に躍り出ようとするのだが――。

監督：ヨアキム・トリアー

脚本：エスキル・フォクト、ヨアキム・トリアー

出演：レナーテ・レインスヴェ、アンデルシュ・ダニエルセン・リー、ハーバート・ノードラム 配給：ギャガ GAGA★
2021 | ノルウェー | フランス | スウェーデン | デンマーク | カラー | ビスタ | 5.1ch デジタル | 128分

字幕翻訳：吉川美奈子 | 後援：ノルウェー大使館

© 2021 OSLO PICTURES - MK PRODUCTIONS - FILM VAST - SNOWGLOBE - B-Reel - ARTE FRANCE CINEMA

@worstperson0701 @worstperson2022 @gagamovie

わたしは最悪



7.1 fri
ROADSHOW

渋谷・東急百貨店本店ヨコ
Bunkamura ル・シネマ
03 (3477) 9264 www.bunkamura.co.jp

有楽町イシア イトシアプラザ4F
テアトルシネマグループ
ヒューマントラストシネマ有楽町
03 (6259) 8608 ttcg.jp

JR新宿駅東南口 GAP 並び NOWAビルB1F
新宿 シネマカリテ
03 (3352) 5645
http://qualite.musashino-k.jp/